



# 戻ってきた背番号10



久原 大輝

選手の台頭もあり、ベンチアウトの日々が続いていたが、持ち味でもあるレセプションの正確性を買われ、ようやく出場のチャンスを得た。

「スターティングリベロ・10番井上航」

コートDJのこのアナウンスを待ち焦がれていたファンの方は少ないだろう。2月26日の岩国大会第

2戦で、井上航選手が今季初出場を果たした。長年リベロとして切磋琢磨してきた唐川大志選手や西村信

くしくも、会場となった岩国市総合体育館は、2年前の試合でアキレス腱断裂の大けがをした場所。本人は口にしなかったが、少なくとも当時のトラウマ（心的外傷）は残っていただろう。

試合前は珍しく緊張しているようにも見えたが、ボールが止まるような質の高いレセプションや、ブロックフオローで幾度も攻撃チャンスを演出し続けた。

試合には敗れてしまったが、航選手の存在感の大きさに改めて気付くことができた。レギュラーラウンドも残り6戦。いよいよ大詰めに差ししかかるが、コート上で輝く「背番号10」をもっと見ていたい。



レセプションの確認をする井上航選手

(2月26日)

(JT広島マネジャー)